

バンダイ所有の世界のアンティーク・トイを展示する博物館
『The World Toy Museum』夏の企画展
「ウルトラマンシリーズ誕生40周年記念
～親子でチャレンジ!ウルトラマンクイズ探検～」開催
2006年7月1日～2006年8月31日まで

株式会社バンダイ
所在地：東京都台東区駒形1-4-8
社長：上野和典 資本金：246億円

(株)バンダイは、自社所有の世界のアンティーク・トイコレクションを中心に展示を行う博物館『The World Toy Museum(以下ワールドトイミュージアム)』(軽井沢・プリンスショッピングプラザ内)の夏の企画展「ウルトラマンシリーズ誕生40周年記念～親子でチャレンジ!ウルトラマンクイズ探検～」を7月1日～8月31日まで開催します。ワールドトイミュージアムでキャラクターをテーマとした企画展が開催されるのは、今回が初めてです。

ウルトラマンシリーズは、1966年に初めて放送されてから今年で40周年を迎えます。現在は、親子二世帯キャラクターとして、未就学児から30～40代の“お父さん世代”まで幅広い世代に愛されています。今回の企画展では、「親子でウルトラマンを楽しむ」をテーマに、懐かしいおもちゃや撮影小道具を使用したクイズやイベントを催し、親子で楽しいひとときを過ごしていただける場をご用意します。(企画詳細はP. 2参照)

ウルトラマン好きの方のみならず、親子でお楽しみいただける夏の「ワールドトイミュージアム」にぜひお越し下さい。



(C) 円谷プロダクション

2006 年夏の企画展

ウルトラマンシリーズ誕生40周年記念 ～親子でチャレンジ！ウルトラマンクイズ探検～

2006年7月1日～8月31日 開催

主催：バンダイ 協力：円谷プロダクション／講談社

ウルトラマンシリーズ誕生40周年を記念し、初代ウルトラマンから最新のウルトラマンメビウスまで、歴代ウルトラマンを多数の展示物を使ってご紹介します。懐かしいおもちゃや撮影小道具を用いてウルトラマンの知識を深めていただくと同時に、夏休みに親子二世代で楽しめる場をご用意します。

企画展概要

◆君もウルトラマン博士

歴代ウルトラマンや怪獣の知識に関するクイズコーナーです。パネルやブラックボックスなどを使って出題されるクイズに、展示物を「見る」「聞く」「触わる」などの方法で、親子で協力しながら回答していただきます。入場の際にお渡しする「スコアカード」に答案を記入し自己採点を行うと、もれなく景品をもらうことができます。

◆君もおもちゃ鑑定士（監修 北原照久氏）

ブリキのおもちゃコレクターとして著名な「横浜ブリキのおもちゃ博物館」館長・北原照久氏が算出したウルトラマンの懐かしいおもちゃの現在の時価を、三択で当てていただくクイズコーナーです。北原氏のビデオメッセージもご覧いただけます。「君もウルトラマン博士」のコーナーと同様にスコアカードを使って自己採点をしていただきます。

◆ウルトラマンと写真を撮ろう！

等身大のウルトラマンとバルタン星人のジオラマの前で、記念写真を撮影することができます。

◆ウルトラマンのおもちゃで遊ぼう！

ウルトラマンの人形や変身アイテム、ゲームソフトなどのウルトラマン商品で自由に遊べるプレイコーナーです。

◆怪獣教室

怪獣博士に扮するスタッフが、スライドを使って怪獣のプロフィールについて講義をします。

※実施日：8月12日（土）～20日（日）（1日4回／各回約10分）

バンダイホームページURL <http://www.bandai.co.jp/>

ワールドトイミュージアムURL <http://www.worldtoy.jp/>

『The World Toy Museum』概要

『ワールドトイミュージアム』では、バンダイが2001年に「ロンドントイ&モデル博物館」より取得した約7千点のアンティーク・トイコレクションの中から選び抜かれた約1千点を11のゾーンにわけ展示を行っています。数ある展示品の中でも、館内中心部に展示されている1900年代初頭に作られた大型炭鉱模型「モデル・コール・マイン」は日本初公開となる貴重なものです。

また展示品をただ見るだけでなく、作られた過程や仕組み、実際の動きなどを、実物や複製、再現映像などによりわかりやすく紹介するほか、常設展示に加え企画展なども行っています。なお、展示品はブリキのおもちゃコレクターとして有名な北原照久氏をはじめ各分野の専門家に監修していただきました。



バンダイはこの博物館を通じて、子どもから大人まで幅広い層に当時の文化や風俗を知ってもらい、おもちゃ文化や歴史への関心を持っていただくことを目的としており、楽しみながらおもちゃ文化を実感していただくカルチャーエンターテインメント施設として運営しています。

●巨大な炭鉱模型「モデル・コール・マイン」

1904年より18年間かけて英国人夫妻によって作られた大型炭鉱模型（幅472×高さ256×奥行264cm）。実際の炭坑をモデルにその廃材で製作されたこのジオラマは、1924



年に大英帝国博覧会に出品されたこともあります。炭坑内部で働く鉱夫

達や炭鉱街の人々の暮らしを、170体あまりの人形や道具の動きによりリアルに表現。時間により実演するこのモデルは前後左右さまざまな方向から見るができます。



※「夏の企画展」開催期間中は、ジオラマの内部メカニズムのライブ映像が上映（本邦初公開）されるほか、触って遊べるコーナーが増設されます。

●「タイムズストリート」～「トイズコリドー」～「壁画ホール」

木製にはじまり金属製、転がすものから動力を使ったものなど技術の進歩とともに変化していく18世紀～20世紀初頭のおもちゃの歴史を、展示品を通して説明します。実際にタイの王族に贈られたというキャデラック社製の電動乗用玩具も展示しています。また西洋の素朴なからくりおもちゃの仕組みを実際に見たり、複製を通じて遊んでいただくコーナーもあります。4月から新たに幻灯機と万華鏡の体験コーナーを増設しています。

●「飛行機模型」～「船模型」

1900年代前半にドイツやイギリスで作られたブリキ製の飛行機や飛行船のおもちゃ、19世紀後半にフランスで作られた蒸気エンジンを搭載した優雅な船のモデルをはじめ、当時でも大変高価な船舶のおもちゃや模型を展示しています。

●「鉄道模型の歴史」～「鉄道ジオラマ」～「鉄道模型」～「スチームエンジン」

バセットローク社やメルクリン社製の古典蒸気機関車モデルをはじめとする、ゼンマイや蒸気で動く鉄道模型創成期からのコレクション、科学文明の進歩と共に作られた各種エンジン模型などを展示しています。中には2メートルを超える大型蒸気機関車模型もあるほか、当時の街並みを再現したジオラマの展示、CCDカメラを操作して街並みを楽しむことができる体験コーナーもあります。

●「自動車模型」～「ミニカー」

ブリキやダイキャスト製の車やオートバイ、軍用車などの大きい乗り物玩具を展示しています。消防車の展示はそのまま発達の歴史を見ているようです。またミニカーコーナーは、ディンキー、コーギー、マッチボックスなど老舗のメーカーのコレクションを一同に展示しています。全長1メートルの大型消防車模型も是非ご覧ください。

●アーケードゲーム

20世紀初頭～半ばに製造された、クレーンゲーム、ピンボール、サッカーゲーム、シューティングなどのアーケードゲームが勢揃いしています。現在でも実際にコインで遊んでいただけます。



●ミュージアムショップ

バンダイのおもちゃをはじめ、ぬいぐるみ、絵本、雑貨など楽しいものやかわいいものを取り揃えています。お菓子入り機関車缶などのオリジナル商品をはじめ、ミュージアム限定グッズの販売も行っています。

施設概要

- <入場料金> 一般：700円 小中学生：400円 小学生未満無料
*入館者は企画展を無料でお楽しみいただけます
- <営業時間> 10:00～18:00 ※季節により変動
休館日 不定休(年末年始は休まず営業いたします)
- <所在地> 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢
「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」内
TEL：0267-42-0501
- <交通> 電車) JR長野新幹線、しなの鉄道 軽井沢駅南口徒歩3分
車) 上信越自動車碓氷軽井沢I.Cから11.5km
- <施設面積> 1066㎡(地下1階 地上1階建)
- <館長> 宮澤 東(みやざわ あずま)